

心理学部 心理学科
助手 山本 和史 YAMAMOTO Kazushi
専門・活動分野 臨床心理学

最新の研究内容
テーマ：親支援(ペアレント・トレーニング)について
研究/活動紹介
①背景

私は、心理師として医療・教育・福祉領域で子どもと関わる仕事をしてきました。その中で子どもだけではなく親(養育者)の支援が非常に大切であると理解しました。2019年から2023年までWell Parent Japan (WPJ) というペアレント・トレーニングの研究に携っていました。WPJとは、ADHDの子どもを育てる養育者を対象にしたペアレント・トレーニング¹⁾であり、イギリスで開発されたNew Forest Parenting Programme (NFPP) を日本の文化やニーズに合わせて再構築した支援プログラムです。全13回のグループセッションで構成されており、養育者自身の心の健康(ウェルビーイング)を高める要素も取り入れています。

②目的

ペアレント・トレーニングは、環境調整や子どもへの肯定的な働きかけを学び、養育者の関わり方や心理的なストレスの改善、子どもの適切な行動の促進と不適切な行動の改善を目的としたプログラムです。特に私が重要な目的として考えているのは、子育てに関して養育者が自信を持って行動できることや、モチベーションを保ちながら様々な方法を試行錯誤して子どもと関わるためのサポートをしていくことです。

③成果・効果や展望

WPJの効果研究²⁾では、多施設で実施された実用的なランダム化比較試験(RCT)により、養育ストレスや家庭内の緊張の軽減、養育行動や育児に対する自信(育児効力感)の向上、費用対効果の高さに関して効果があるという結果になりました。

今後は、WPJペアレント・トレーニング普及についての活動を行いながら、子育てをされている様々な養育者に対して、附属心理臨床センターにてカウンセリング等の支援を実施していきます。

1) OIST子ども研究所(<https://www.oist.jp/ja/crc/research-projects>)

2) Shizuka Shimabukuro, Takashi Oshio, Takahiro Endo, Satoshi Harada, Yushiro Yamashita, Akemi Tomoda, ... Gail Tripp(2024) A pragmatic randomised controlled trial of the effectiveness and cost-effectiveness of Well Parent Japan in routine care in Japan: The training and nurturing support for mothers (TRANSFORM) study. *Journal of Child Psychology and Psychiatry* 65/12, 1624-1637

 < Well Parent Japan(OIST子ども研究所^{*)} >


< 附属心理臨床センター相談室 >


産学連携/地域貢献へのアピールポイント、相談可能事項

- Well Parent Japan (WPJ) Therapistの資格を保持しているため、ADHDの子どもを育てる養育者に向けたペアレント・トレーニングを実施することが可能です。
- 仁愛大学附属心理臨床センターでは、大学院生養成を目的とした相談機関として、子どもから大人、多くの年代の方のカウンセリングや、親子並行カウンセリングを実施しております。どなたでも気軽に相談のお申込みください。

学会・経歴

- 日本心理臨床学会
- 中部人間学会
- 日本スクールカウンセラー協会
- 沖縄科学技術大学院大学(福井大学と共同研究)ペアレント・トレーニング研究(福井サイト)リサーチアシスタント・グループリーダー
- 福井県公立派遣スクールカウンセラー 等

<お問合せ窓口>

仁愛大学 地域共創センター TEL 0778-43-6576 e-mail collabo@jindai.ac.jp